



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1

足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)

日本共産党区議団 直通3880-5770

<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

第3回定例議会で日本共産党 が取り上げた質問次々と実る

新型インフルエンザワクチン 接種費用の自己負担助成

新型インフルエンザワクチンの接種が10月下旬から優先開始され、また費用負担について、生活保護者は全員免除、その他は一律定額助成となりました。

実施方法

期間—接種が開始されてから、平成22年3月末まで。

接種実施場所—区内契約医療機関。なお区外医療機関等については償還払いで対応。

助成対象者

妊婦、基礎疾患を有する者、小児(1歳~小学校3年生)、1歳未満の小児の保護者等、小学4年生~6年生、中学生、高校生相当、高齢者(65歳以上)

助成額

	本人負担	区負担	計
1回目	2,100円	1,500円	3,600円
2回目	1,050円	1,500円	2,550円
計	3,150円	3,000円	6,150円

追加募集

育英資金奨学生募集

募集期間

平成21年11月10日~30日

貸付予定人員

高校生・・・15名程度 大学生・・・15名程度

貸付金額と期間

区分	国立・公立学校		私立学校	
	入学資金	修学資金	入学資金	修学資金
高校生	70,000円	13,000円	150,000円	30,000円
大学生	200,000円	35,000円	300,000円	45,000円

経済的に困った方が一日でも早く、 生活の建て直しがはかれる施策

経済悪化により、住居を喪失した失業者に対し、常用就職に向けた求職活動を条件に住宅手当を支給。

1、支給対象者(以下のすべての要件を満たす者)

2年以内に離職した方、離職前に、自らの労働により賃金を得て主として世帯の生計を維持していた方、就労能力及び常用就職の意欲があり、ハローワークへの求職申込みを行なう方、住宅を喪失している方又は喪失するおそれのある方、原則として収入のない方(世帯総収入が、単身世帯は月8,4万円、複数世帯は月17,2万円以下)、同一生計の世帯総貯金額が、単身世帯は50万円、複数世帯は100万円以下の方、国、地方自治体等が実施する住居喪失離職者等に対する貸付又は給付を受けていない方。

2、支給額、支給期間

支給額 単身世帯 月53,700円以内

複数世帯 月69,800円以内

支給期間及び方法 6ヶ月間を限度とし、住宅の貸主等に振込む

受付窓口と実施日 各福祉事務所総合相談係、

平成21年10月26日

プレミアム付き区内共通商品券の発行

販売場所及び発売日

各商店街・商店 平成21年11月22日(日)から完売日
足立区役所アトリウム 平成21年11月22日(日)の
休日閉庁日にあわせて9時から16時(予定)

使用期間 平成22年3月31日(水)

内容 1セット5,500円(500円プレミアム付)

60,000セット販売

利用店舗 区内60商店街加盟店舗、一部コンビニ等
約2,400店舗で利用可能

都営住宅の申込書き込み会

申込用紙配布期間 11月2日(月)~11月11日(水)

申込受付期間 11月16日(月)までに渋谷郵便局必着

抽選日・会場 12月24日午前30分~午後6時頃

都庁第2本庁舎1階ホール

家族向き、単身者向き、若年ファミリー向け等々

詳しくは、3880-5770区役所・日本共産党控入室

第17回

北部ふれあいまつりに のべ800人参加



10月25日(日)陣川戸公園で、「第17回北部ふれあいまつり」が、同実行委員会主催で行なわれました。和太鼓・友鼓会、民謡、チアダンス、ハーモニカ、手品の演技と模擬店、リサイクルバザー、土建組合・花畑分会の包丁ときなどで楽しく交流しました。



本木東小学校は統廃合

10月20日の文教委員会で、本木東小学校PTA副会長などから提出された「請願」は自民・公明・民主・無会派によって不採択になりました。また統廃合についての「実施計画(案)」が報告されました。しかし、これで決まったわけではありません。地域の運動は続きます。日本共産党は10月23日、第3回定例議会の最終本会議でこの問題で討論を行ないました。

足立区の教育委員会は本木小・本木東小の統廃合計画を、十分な話し合いや合意もなしにすすめるようとしています。「子ども重視」といながら学校をつぶし、子どもたちに負担や犠牲を負わせているのでしょうか? 区議会の決算特別委員会で日本共産党の質疑できらになった内容を報告します。

	自民	公明	民主	無会派	共産
本木東小学校の統廃合を拙速に決定せず、父母及び地域住民と十分な話し合いを求める請願書	反対	反対	反対	反対	賛成

今回の統廃合計画は、従来と違う点が何点もあります。ー 反対討論の一部を紹介しますー

第一に、学校選択の自由化のもとでの統廃合とどうです。保護者や子どもは「小さくて決め細やかで目が届く」と小規模校であることを承知の上で本木東小を選択しているのです。小さな学校を選択肢として残すことも必要ではないでしょうか。学校選択の自由化を保障するといながら、その選択権を否定し、小さな学校だからつぶすとするのは、区教委が学校選択の自由化で意図的に過小規模校を作り出し、学校を統廃合しているとの指摘を免れません。

第二に、従来は千寿第一小と千寿旭小を統合し、千寿本町小が誕生して以来、2校が統廃合の対象となり、どちらの学校を残すのかや校名も含め検討してきました。もちろん統廃合そのものを認めるつもりはありませんが、今回は、今までのやり方よりもひどく、最初から本木東小1校を槍玉に挙げ、つぶす計画があると聞いています。

現在の学区の半数以上の児童は関原小に残りは本木小に、児童はばらばらになり、学校を廃校にするのです。しかもその跡利用も未定であり、地域の財産、貴重な拠点をただ単に奪うことになりかねません。



10月17日、アリオ前で宣伝署名行動